

# ARGENTINA



発行：(社) 日本アルゼンチン協会 編集長：松本 アルベルト 会報第42号  
〒105-0004 東京都港区新橋1-17-1 親幸ビル Tel:03-3501-4684 Fax: 03-3595-3932

E-mail:argentina@nifty.com E-mail:jam@ideamatsu.com (編集部)

印刷：株式会社アイデア・インスティテュート 2003年10月20日発行 N°42-octubre de 2003  
季刊会報 - BOLETIN TRIMESTRAL PARA SOCIOS

## 駐アルゼンチン大使に永井氏

Asume el Embajador Shinya NAGAI

新しいアルゼンチン大使に永井慎也（ながい しんや）氏が決まった。

永井新大使は、外務省では、中南米第一課長や中南米局審議官を務め、また、ウルグアイ、ペルー等に勤務の経験があるラテンアメリカ通である。大使としては、カタール大使に次ぎ2度目の赴任になる。

「アルゼンチンは、勤務地としては初めてですが、中南米第一課長をしていましたし、隣の国ウルグアイにもいました。また、大来レポート作成の時、アルゼンチンに滞在してお手伝いしましたので、ずっとご縁はありました」と語る。

11月3日朝ブエノスアイレスに着き、日本チリ経済合同委員会の会議のあとアルゼンチンにまわる日本経済界の人たちを、その日の夜大使公邸に招くという慌しさをかかえて赴任する。

永井大使経歴：昭和42年外務公務員上級試験合格。43年京都大学法学部卒業、外務省入省。61年中南米局中南米第一課長。同年、ウルグアイ大使館参事官。平成元年国連代表部。3年、ペルー・リマ総領事。公使就任。中南米局参事官。大臣官房審議官兼中南米局。日本国際問題研究所主任研究員。カタール駐在特命全権大使。12年、国際研修協力機構常務理事。14年、国際協力基金専務理事。15年、アルゼンチン駐在特命全権大使。



## Juanjo Dominguez公演 & 大使館パーティー

10月12日、EL DIA DE LAS AMERICAS「コロンブスのアメリカ大陸発見の記念日」を祝って、アルゼンチン大使館大使公邸で日本アルゼンチン協会主催のパーティーが行われた。来日中の名ギタリストJUANJO DOMINGUEZ氏他3名の演奏者、そして歌手のVANESA QUIROZさんの歌唱で80数名の参加者がタンゴに酔った。



この企画を進めるに当たって、日本公演を実施した株式会社ラティーナ、民音、そしてアルゼンチン大使ハム氏をはじめ文化担当官のヒガ公使らに心から感謝する。

Nuestro más sincero agradecimiento al Embajador Ham y a todo el personal de la embajada, a la firma LATINA S.A. y a la organización Min-on que hicieron posible este hermoso evento.

Juanjo DominguezのCDはラティーナで購入できます。  
<http://www.latina.co.jp>



ASOCIACION NIPO-ARGENTINA: Institución creada en 1930 por el entonces príncipe Takamatsu para promover las buenas relaciones entre ambos pueblos. Después de la IIª Guerra Mundial, un grupo de diplomáticos y hombres de negocios deciden reiniciar esta labor y en 1957 obtiene la personería jurídica como Asociación Civil declarado de interés público (koeki hojin) por el Ministerio de Relaciones Exteriores de Japón. La Asociación cuenta con socios corporativos (instituciones y empresas), socios particulares plenos y colaboradores. Se autofinancia y no depende de ningún subsidio público. Los directivos trabajan *ad honorum*.

Todas sus actividades, principalmente culturales, de difusión, de intercambio institucional, etc., se centran en promover el entendimiento y la amistad entre el Japón y la Argentina.

(C) Copyright Shadan Hojin NIHON ARGENTINA KYOKAI Tokyo. Minato-Ku. Shinbashi 1-17-1. Shinko Bldg. 105-0004. JAPAN



## アルゼンチンの蜂蜜 Miel argentina



最近、大手スーパーマーケットで「アルゼンチン産はちみつ」が見られるようになった。以前からも入ってはいたが、その多くは中国産等とのブレンドであったため、高級蜂蜜「レモン花アルゼンチン蜂蜜」として販売されているものはあまり見かけなかった。

在京アルゼンチン大使館の統計によると、ここ数年、日本への蜂蜜の輸出がかなり増えており、金額ベースでは倍以上である。2001年の輸出額は224万ドルであったが、2002年には465万ドルにまで伸びている。ただ、ほとんど日本で瓶（ポリ容器）詰めされているのが現状である。

アルゼンチンには2万5千の養蜂家が存在しているが、ほとんどが零細事業で所得もかなり低いとされている。国内市場だけでは良い収入が見込めないため、ここ20年の間多大な経営努力を行って生産性を高めてきた。2000年には、8万8千トンも輸出し、そのうち約3万トンがアメリカ市場向けだった。

アルゼンチンには2万5千の養蜂家が存在しているが、ほとんどが零細事業で所得もかなり低いとされている。国内市場だけでは良い収入が見込めないため、ここ20年の間多大な経営努力を行って生産性を高めてきた。2000年には、8万8千トンも輸出し、そのうち約3万トンがアメリカ市場向けだった。

しかし、米商務省は、亜国は価格のダンピングで“不正貿易”を行っているとして認定し関税を33%にまで引き上げてしまった（同じ時期に中国の蜂蜜に対しても同じ決定を下し184%の関税を課した）。戦後、アメリカは自国の養蜂業を補助金や様々な優遇措置で保護してきたが、アルゼンチンや中国の養蜂家が国際的にも競争率を上げてきたことへの対抗措置とみる専門家もいる。

貿易の自由化を求めるアメリカは、全世界各地の蜂蜜生産者に大きな打撃を与えており、アルゼンチンではそれ以来、高級はちみつ（花の指定）の生産に乗り出している。品質も価格も日本から見ても十分に競争できる商品だが、現時点ではそのほとんどが樽での輸出であり日本で最終商品として瓶詰めされている。それは、日本人が好むサラッとした蜂蜜を提供するためであり、あまり甘くないようにするためだとされている。

## アルゼンチンの高級ワイン-日本に上陸

アルゼンチン、メンドーサ州に所在する名門ワイナリーLuigi Boscaが日本向けにスパークリングワイン「Boheme」と熟したやや甘口の「Gewuztraminer」を輸出すると発表した。地元メディアによると、輸入はサントリー社が行うことになっており、小売り販売価格が30ドル（3,450円/後者の銘柄）から60ドル（6,900円/前者の銘柄）の範囲とされている。

当ワイナリーは生産の4割を輸出しており、厳しいヨーロッパ市場でも成功している。日本のワイン通にも好まれると、輸出を担当しているAlberto Arizu氏は確信している。当初は、東京ベイホテルの高級レストランやワイン専門店で見られないかも知れないが、ワイン通には新たな楽しみが増えたことになる。（La Nación, 03/9/16）

2001年末のペソ下落と経済危機によって2002年にはワインの輸出が15%ダウンした。しかし、今年の中頃から少しずつ回復をみせており輸出も伸び始めている。アルゼンチンは世界のワイン生産者として5位であるが貿易のシェアは1.3%にしか達していない。こうした背景もあって、各ワイナリーは品質の良いワインに力を入れ始めており、10%シェアを目指している。90年代には業界全体で13億ドルに相当する金額を新技術と設備投資に当てている。

□ 亜国の今年のワイン輸出は史上最高と言われている。1.5億ドル（165億円相当）に達すると見ているが、現在チリは6億ドル（660億円）、そしてオーストラリアが11億ドル（1,200億円）の収入を得ている。

**MIEL argentina:** Según datos de la Oficina Comercial de la Embajada Argentina en Tokyo, en el 2001 las exportaciones de miel alcanzaban los 2.2 millones de dólares. En el 2001 se había incrementado al doble, a 4.6 millones. Si bien son reenvasados en Japón para adaptarlos al paladar local, en algunos supermercados se puede observar, por ejemplo, miel de excelente calidad extraída de la flor de limón.

**VINOS finos:** La bodega Luigi Bosca ha anunciado que va a exportar el vino espumante "Boheme" y el tinto un tanto dulzón "Gewuztraminer" al Japón. El precio de venta al público será de unos 6.900 yenes el primero, y 3.450 yenes el segundo.



## オーガニック専門家再来日 Experto en productos orgánicos en un programa de JETRO

アルゼンチン認定有機製品生産者会議所-CAPOCのSebastian Sala専務理事がジェトロの研修員受け入れ事業の「南米有機食品産業育成プログラム」の枠組みで他8カ国の専門家とともに再来日した。

昨年の有機食品見本市BioFachでのセミナー参加やジェトロの南米調査団派遣等によって、アルゼンチンを含む諸国はオーガニック商品の輸出に感心を高めている。日本へ輸出する為には、他の国の有機認証を得ていても、日本のJAS法による認証を受けていなければならない。

こうしたことから、亜国の場合、昨年末から野菜や食材だけではなく有機加工食品の地元有力企業が団結して共同組合を形成した。この試みを実務的に運営しているのが、今回三度目の来日を果たしているCAPOCのSala氏である。生産業者等の期待を背負ってもう一度この日本で詳細な情報を収集するためにアルゼンチン政府から選任されたのである。

約2週間の研修・調査を終えて23日に帰国したが、同氏は、日本の農業状況や食料の自給率、流通経路や他の国々のオーガニック制度等を詳しく学ぶことができたことに満足しており、アルゼンチンでは新たな輸出戦略を検討すると話してくれた。

いかなる国でも有機栽培の基本は自国民に安全で安心できる食料を提供することであるが、日本の場合、地理的気候的諸条件を考慮しても、穀物（大豆をはじめ）や多くの農産物の過剰なほどの海外依存率、不透明な非有機食品の表示問題（無農薬、減農薬、ヘルシー等）、複雑でコストがかかりすぎる認証制度等がオーガニック市場の発展を妨げている側面がある一方、有機を含めて安心して消費できる食品の販売に着手している企業や組織、外食産業も現れてきており、国内での自社農場や契約農家制度を徹底した新しい試みを行っている。ヨーロッパ諸国では、農業の有機栽培というものは食料の自給率向上と国の「食料安全保障」という大きな目標の中に位置づけているが、日本ではまだそうした認識が薄いのかも知れない。



メモ1) 昨年のBioFac Japanでの展示をきっかけに、現在、日本でアルゼンチンオーガニックワインが販売されている。La AgricolaワイナリーのVIDA ORGANICAというラベルで、Cabernet SauvignonとChardonnayをナチュラルローソン（コンビニチェーン店の一部）等で購入できる（輸入：サッポロビール株式会社）。10月からは、一般のローソンでも一部販売されており、アルゼンチン産オーガニックワインが日本市場に浸透する良い機会になる（亜大使館商務部情報提供）。ワインは、JAS認証の対象になっておらず、酒類関係を管轄している国税局の基準にもとづいてオーガニックとして販売できる。

メモ2) アルゼンチンは90年代からヨーロッパ諸国に有機商品を輸出している。例えばイギリスは、食品市場のほぼ5%が有機生産によるものであり、海外からみても大きなビジネスチャンスである。昨年11月にロンドンで「アルゼンチン産有機羊肉のセミナー」を行っているが、その際、750トンに及ぶオーダーがあったという（La Nacion新聞）。

メモ3) 日本の耕地面積は476万haであるが、総農家数302万戸のうち専業農家は約44万戸である。また、65歳以上の農業従事者が53.3%にも及んでいる。食料自給率は40%だが、主食用穀物は60%で飼料用等のは27%である。国内生産の大豆は6%ぐらいで94%は海外からの輸入である。国内の有機農産物生産量が約3万5千トン。海外からの輸入が16万トン、そのうち6万トンが大豆である。最近の傾向として、有機に対してはもっと美味しく価格もリーズナブルな加工食品を目指すことにあるようだが、生鮮に関しては国内農産物の供給能力を高めるにはもっと合理的かつ経営概念が通用する農業で若い世代にも魅力的な事業になる必要がある。

在京亜国大使館サイト（有機産品を参照） <http://www.embargentina.or.jp/keizai/keizai.html>

CAPOC <http://www.organico.com.ar>

（写真：Sebastián Sala氏、JETROにて）

La ARGENTINA tiene todas las condiciones climáticas, geográficas y agrícolas para producir orgánicamente, así lo asevera Sebastián SALA, Director Ejecutivo de la Cámara Argentina de Productores Orgánicos Certificados. Esta tercera visita al Japón ha sido para profundizar los estudios del mercado orgánico japonés y para evaluar las posibilidades de ampliar las exportaciones de productos orgánicos, tanto de productos agrícolas frescos como de los procesados.

En esta ocasión está en Japón a través de un Programa de Capacitación para América Latina de la organización JETRO. En las dos semanas de estudio ha visitado, junto a otros 8 colegas latinoamericanos, la exposición de orgánicos BioFach Japan, firmas importadoras, procesadoras, comercializadoras tipo cooperativas, productores agrícolas, etc.

Actualmente, Argentina ya está exportando vinos orgánicos que se venden en comercios como NATURAL LAWSON y demás almacenes.



# 最新アルゼンチン情勢 政治・経済の主な出来事

塩見 憲一



アルゼンチン政府はIMFとの間で期間3年間の中期経済プログラムに合意。

延滞中の対民間公的債務943億ドルに対し、元本を実質75%削減することを骨子とする債務再編案を発表したが、債権者の反応は極めて厳しく、今後の交渉難航が予想される。

(写真：大統領府 Casa Rosada)

## 「IMFと中期経済プログラム合意」

IMFとの間で、本年8月末を期限とする暫定融資プログラムに続く新たな支援協定を締結すべく交渉が進められていたが、財政収支の黒字目標、公共料金引上げ、ペソ化に伴う金融機関の損失補償措置などに関する交渉が平行線を辿っていた。9月9日にはIMFに対し29億ドルの融資金返済期日が到来するため、成り行きが注目されていたが、結局、同日までに支援プログラムは合意に至らず、アルゼンチン政府が返済を見送ったため、事実上デフォルト状態に陥った。しかし、その後IMF側が大幅な歩み寄りを見せ、翌10日夜には基本合意に達した事を発表、9月20日開催のIMF理事会でアルゼンチンに対し3年間の融資金返済額に見合う総額約125億ドルのスタンドバイ・クレジットを始めとする中期経済プログラムが承認された。尚、交渉が難航していたプライマリー財政収支の黒字目標は2004年度をGDP比3%に定めることに留め、2005～2006年については別途協議することになった。

## 「対民間公的債務の再編案発表」

9月22日、アルゼンチン政府はIMF・世銀総会開催中のドバイにおいて、延滞中の対民間公的債務約943億ドルについて、新債券と交換することにより元本を実質75%削減することを骨子とする債務再編案を発表した。新たに発行される債券としては、元本削減債、元本削減は控えるが金利の引き下げと償還期間長期化が行われるパーボンドのほか、金利の元加、GDP成長率連動型クーポンなどの選択肢も設けられることが検討されている。政府は今後の交渉において債権者に譲歩する意思はないことを強調するなど、厳しいスタンスで交渉に臨む姿勢を示し、10月20～30日の日程でニューヨーク、東京、ミラノなど世界主要マーケットで債権者に対する再編

案の説明を行い、理解を求める予定であるが、元本の大幅削減に対する債権者の反応は否定的で、交渉は難航することが予想される。

## 「市場動向」

市場はIMFとの支援交渉の成り行きを睨んだ展開となった。7月に入り弱含みで推移していた株式市場は、IMFとの支援交渉の遅れや正副大統領の不和による政権への不安など目先の不透明感からさらに軟調に推移し、8月20日には3ヶ月振りの安値となる674.63ポイントを付けた。しかしその後は、9月10日のIMFとの中期経済プログラムの合意、地方選挙でキルチネル大統領が支持する候補の当選などで値を戻し、さらに政府の対民間公的債務の再編交渉着手などを市場が前向きに捕らえ、9月24日には811.65ポイントと6年ぶりの高値を付けた。為替市場については、輸出に伴う安定したドル資金の流入を反映し、7月11日にインターバンク終値が1ドル=2.76～81ペソと1年3ヶ月振りのペソ高を示現し、ペソ強含みに推移していたが、7月下旬にはペソ金利の低下と大企業によるドル買い、輸出業者のドル売り控えなどでペソ安基調に転じ、8月4日には1ドル=2.96ペソ台を付け4ヶ月振りの安値水準になった。9月に入ると、IMFとの支援交渉が平行線を辿る中でIMF融資金の返済期日が迫り、一時1ドル=2.9ペソ台後半から3.0ペソを伺う展開となったが、9月10日のIMFとの交渉決着とIMFに対する債務の返済履行を受けて値を戻し、その後は1ドル=2.90ペソ台前半で落ち着いた展開となっている。

## 「地方選挙動向」

このところ各地で地方選挙が行われており、キルチネル政権に対する国民の支持を占う地方選挙として9月14日のブエノスアイレス市長選決



選投票と9月28日のミシオネス州知事選挙が注目を集めていた。ブエノスアイレス市長選決選投票ではキルチネル大統領が支持する中道左派で現職のイバラ候補が、正義党の多数が支持する右派のマクリ候補を抑えて当選した。又、ミシオネス州知事選挙でもキルチネル大統領が支持する現職のロビラ候補が、ドゥアルデ前大統領が支持していた正義党公認候補のプエルタ前下院議員を破り、再選を果たした。尚、この他、サンタフェ州、ブエノスアイレス州など主要な州知事選でキルチネル大統領の支持を受けた正義党候補が当選しており、キルチネル政権の基盤強化に繋がる動きとして評価されている。

### 「アルゼンチン産大豆は過去最高の生産高を記録、来年もこれを上回る見通し」

米国農務省 (USDA) は7月11日、世界の大豆生産見通しを発表した。同発表では、世界第3位の大豆生産国であるアルゼンチンについて、2003-04年度の生産は、過去最高記録を更新する37百万トンに達するであろうと予想している。アルゼンチンの大豆は天候にも恵まれ5月に収穫を完了した。2002-03年度生産高は35.5百万トンに達し、過去最高の生産高を記録したが、2003-04年度はこれを更に上回る見通しとなった。

### 「5月の完全失業率15.6%、貧困層人口比率54.7% ~ いずれも前回調査から改善」

7月31日の国家統計調査院 (INDEC) 発表によると、5月の完全失業率は15.6%で、前回調査時点である昨年10月の17.8%から2.2%改善した。不完全雇用者 (労働時間が週35時間に満たない者) については1.0%改善し、18.9%であった。又、同時に発表された都市部の貧困層人口の比率が昨年10月の57.5%から54.7%に、又、極貧層人口は同27.5%から26.3%へと若干ながら改善した。

### 「年初から8月までの消費者物価上昇率+2.5%に止まる」

国家統計調査院発表の消費者物価上昇率は6月-0.1%、7月+0.4%、8月は前月比不変となり、今年に入ってからの上昇率は+2.5%に止まっている。7月の物価上昇は季節的要因のよるものとタバコの値上げが影響した。卸売物価は6月-0.2%、7月は前月比不変、8月は原油価格上昇の影響を受けて1.5%上昇、今年の実績は-1.1%となった。

### 「2003年1~8月の工業生産指数前年同期比+17.0%」

9月16日の国家統計調査院 (INDEC) 発表によると、8月の工業生産指数は前年同月比+17.5%、1~8月では前年同期比+17.0%であった。業種別では出版・印刷 (前年同期比+41.6%)、繊維 (同+38.6%)、金属機械 (同+41.9%) などが全体の上昇要因となっている。INDECによると、国内需要の回復が生活基礎物資等で特に顕著となっており、その他の業界でも消費の活発化が伺えると分析している。

### 「2004年度予算案を議会に提出」

9月17日、アルゼンチン政府は2004年度予算案を下院に提出した。同予算案は経済成長率4.0%、インフレ率9~11% (目処10.5%)、プライマリーベース財政収支GDP比3%などを前提として策定されている。2004年度の公的部門歳出総額は今年度より7,423百万ペソ多い83,254百万ペソを予算計上し、社会保障、科学技術、地方経済発展に重点的に配賦する方針。公的部門歳入総額は86,494百万ペソを計画。尚、税金については、ラバーニャ経済大臣は2004年度には増税は行わない方針を出しているが、アルゼンチン経済の回復、脱税の取締り強化などにより前年比13.7%増の79,416百万ペソを見込んでいる。

### 「2003年第2四半期の経済成長率前年同期比+7.6%」

9月19日の国家統計調査院 (INDEC) 発表によると、2003年第2四半期の実質GDP成長率は前四半期比+1.6%、前年同期比で+7.6%であった。項目別では、民間部門消費 (前年同期比+6.9%)、公共部門消費 (同+3.7%)、粗固定資本形成 (同+31.7%)、財・サービス輸出 (同+8.7%) のいずれも前年同期比増加した。2003年上半年期の成長率は前年同期比+6.6%となった。尚、今年の経済成長率について、中銀総裁は6.5%の成長を予測すると9月12日に述べる一方で、経済省は第2四半期の結果を踏まえて+5.5%は確実に達成するであろうとの控えめの予測を出している。

### 「7月のスーパーマーケット売上が28ヶ月振りにプラスに転じる」

国家統計調査院 (INDEC) 発表のスーパーマーケットの前年同月比売上が、7月+1.3%、8月+1.9%となり、28ヶ月振りにプラスに転じて



いる。このところ経済成長率や工業生産指数などマクロ経済指標では経済の回復を伺わせる数値が発表される中、個人消費動向に直結するスーパーマーケットの売上は相変わらず低迷を続けてきたが、ようやくここに来て景気回復が個人消費にまで広がり始めたと評されている。尚、ショッピングセンターの売上については、8月は前年同月比+25.8%となり2002年12月から連続プラス成長を記録している。

### 「輸入が大幅に回復しているが、貿易収支は引き続き黒字計上」

今年1~8月の貿易収支の黒字は前年同期比+2.36%の11,419百万ドルを計上した。輸出は6月に過去最高を記録し、1~8月累計で19,634百万ドル（前年同期比+16%）となった。一方、輸入は累計で11,419百万ドルとなり、前年同期比+42%と大幅に伸びている。国内景気が回復基調にあることとペソ相場の安定などを背景に、全品目に亘り増加しており、特に資本財及び関連部品（コンピューター、トラック、トラクターなど）の輸入が高い伸びを示している。

（しおみ けんいち、当協会理事、東京リサーチインターナショナル研究理事）

2003/9/30日現在迄の分析データ

\*\*\*\*\*

### アルゼンチン関係の記事/原稿

関係団体の会報や刊行物で掲載されているアルゼンチン関係の記事を案内します。

#### -キルチネル大統領と日系社会-経済回復と「出稼ぎ」のない将来を期待

アルゼンチン日系人センター会長 小木曾モニカ

季刊海外日系人第53号2003年9月13頁

編集・海外日系新聞協会/海外日系人協会発行

#### -アルゼンチン・コスキンに眠る日本人の無縁仏-移住の夢を病魔に絶たれて

folkloreの街の納骨堂 国本伊代（中央大学教授）

季刊海外日系人第53号2003年9月24頁

編集・海外日系新聞協会/海外日系人協会発行

#### -2003年アルゼンチン大統領選挙-過去からの脱却そして変革の時代へ-

篠崎英樹（在亜日本大使館専門調査員、神戸大学大学院

国際協力研究科博士課程在籍）

月刊「ラテンアメリカ時報」平成15年8月号15頁

（社）ラテン・アメリカ協会

#### -アルゼンチン：経済危機と社会保障 宇佐見耕一

（JETRO・アジア経済研究所地域研究第2部）

ラテンアメリカレポート2003年5月Vol.20N1,第2頁

IDE-JETRO発行

## ARGENTINISMOS コーナー アルゼンチン特有の語法&俗語

「外出に出かける前、自宅での会話」

\*Querida,¿Vamos a morfar? ¡Tengo un ragú!

夫：外で食事でもしようか。腹へったよ！

\*Fenómeno, pero no me lleves al bodegón berreta de siempre, vamos a un lugar bacán.

妻：いいわよ！でも、いつもの安っぽい店だけは勘弁してね。もっと高級なレストランに行きましょう。

\*¡Qué pesada! Vayamos a la cantina nueva de la otra cuadra.

夫：うるさいな！それじゃ、新しく開店したあのイタリアンレストランへ行こう。近いし。

\*¡Ufa, sos un pijotero!

妻：もう、せこいんだから。

\*Pero soy el que para la olla.

夫：俺が家計を支えているんだからな。

\*Bueno, pero vamos en auto.

妻：分かったわ、でも、車でいきましょうね。

\*¿Y dónde estaciono?.....

夫：どこに駐車するんだよ！

\*Bueh, Macanudo, no te empilches mucho.

夫：まあいいや、分かった。でも、あまりお酒落するなよ。

\*¿Voy a ir con esta facha?

妻：こんな格好でいくの？

\* ¡Vamos como quieras!

夫：ん、好きにしろ。早く行こう！

Ragú: お腹が空いている。腹がへっている。

Fenómeno: オーケー（同類：bárbaro, macanudoとも言う）

Bodegón: 安いレストラン

Berreta: 安くてあまり質がよくないこと。すぐ壊れるものも指す。

Bacán: お金持ち。高所得者。お金持ち風の。

Pijotero: せこいこと。お金をつかわない人。

Cantina: そう高くないイタリアンレストラン

Parar la olla: 家計を支えていること。収入の多くを入れていること。

<http://www.geocities.com/TheTropics/Bay/7110/>

このサイトを運営するMARIANO NASTA氏の了解を得て定期的に掲載します。同氏もこの日本でアルゼンチン人が日常会話によく使用する argentinismo を紹介することは大変光栄で、会員の反応を楽しみにしています。





## アルゼンチンの「移民の日」

今年はMisiones, Oberá市で開催

通常日本で「移民の日」というとあまりピンとこないかもしれない。特に若い世代は海外旅行や留学、ホームステイ等と様々な形で海外経験があり、海外で一定の期間日系企業や地元企業で働いたり、何らかのビジネスチャンスを探して事業を起こすこともあまり珍しくない。仕事も生活も拠点が海外にある場合は意識なくとも一種の「移民」と言える。今は学生が貧乏旅行をしても何とか飛行機で1日から1日半もあれば日本に帰ってこられるが、100年前、神戸港や横浜港から出港した移民船で海外に行った人たちは、帰りたくとも帰れなかったのが実状である。そうした日本人移民とその子孫（日系人）は世界中に存在しており、現在250万人を越えている。注1)

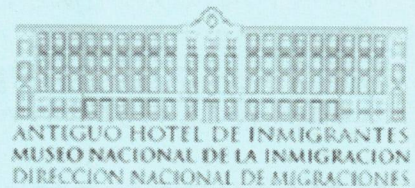
日本の移民も150年近くなるが、ブラジルへの移民で、「笠戸丸」が初めてサントス港に入港したのは、1908年6月18日であり、それ以来、約25万人もの日本人がブラジルに移住したのである（その他、ペルー等に数万人移民している）。日本人移民の貢献を高く評価したブラジル政府は、1976年に6月18日を「日本人移民の日」として制定し、その結果、日本でも移民政策関係者ではこの日を「移民の日」としている。

一方アルゼンチンといえば「移民の国」である。19世紀後半から主にヨーロッパ地中海地域からの移民によって国造りを行ったのであるが、1914年頃の国勢調査によると、人口の3分の1は外国人であったことが判明している（国籍は、イタリア、スペイン、ポーランド等）。

現在、亜国に存在する日本人移民及びその子孫は約3万2千人で、日本国籍者は11,461人である。しかし、このうち、永住者（戦前戦後移民した日本人及び戦後国際結婚や事業の理由でアルゼンチンに永住を決意した日本人）が10,798名で長期滞在者（3カ月以上の滞在者であるが永住者でない）が663名となっている（このカテゴリーに日系企業や政府機関の駐在員が含まれる）。

アルゼンチンは9月8日を「移民の日」としており、政府の記念式典は、今年はミシオネス州のオベラという町が開催地に指定された。これと同時に、ブエノスアイレス市内にある「移民資料館」の広場では同月27日・28日に様々な催しが行われた（民族舞踊、民族料理等）。移民資

料館は以前、移民者が到着したときに一時的に宿泊していた施設でもあり、現在、移民局の本部でもある。



亜入国管理局-移民資料館-移民者宿泊所  
Av. Antmgtida Argentina 1355 CP 1104ACA  
(011) 4342-6749 / 4334-7717  
<http://www.mininterior.gov.ar/migraciones/museo/index.html>

注1) 最も多いのがブラジルで130万人、次いでアメリカ合衆国に100万人、ペルーに8万人、カナダに6万8千人、アルゼンチンに3万2千人、メキシコに1万6千人、ボリビアに1万人、パラグアイに7千人位とされている。

<http://www.jadesas.or.jp/> (財) 海外日系人協会  
<http://www.jica.go.jp/yokohama/> JICA横浜国際センター「海外移住資料館」

## 第44回海外日系人大会

9月24日/25日、(財) 海外日系人協会や関係団体の主催で「海外日系人大会」が開催された。今年の代表者会議には、諸事情によってアルゼンチンからは誰も出席できないということで、FANA-在亜日系団体連合会の委任で当協会の松本 J. アルベルト氏がアルゼンチンの代表代行として参加した（協会の理事としてではなく個人的に委任された任務である）。

24日の歓迎レセプションと25日の式典には、常務理事の木島元在亜大使が出席した。



写真：左から松本 J. アルベルト、JICA日系人研修員（日本語の研修生と日本語教師の研修員）、そして岩手県費留学生の古賀ナタリアさん（農業研修）。

\*\*\*\*\*



## アルゼンチンで日本の漫画・アニメがブーム

"Caballeros de Zodiaco" - これが何か分かりますか？実は日本で流行った「聖闘士星矢」というアニメのスペイン語のタイトルです。ピカチュウが90年代に世界中の子供達の人気者になったのは記憶に新しいですが、アルゼンチンでも実は日本の漫画やアニメがブームです。インターネットが普及した今日、DVD等の動画も簡単に手に入るようになりました。漫画・アニメを通し日本に興味を抱く人も多いようです。

### ＝漫画を書く人は日本のJ-POPにも興味がある＝

ブエノスアイレスのCentro Nikkei Argentinoで漫画を教える台湾系アルゼンチン人Andrea Jenさんに漫画事情を尋ねました。

—アルゼンチンでは、どんな日本の漫画が人気ありますか。

アクション系では「るろうに剣心」、女の子は「カードキャプターさくら」「ふしぎの国の美幸ちゃん」など。その他「らんま1/2」「スラムダンク」などですね。ストーリー的には、渡瀬悠宇の「ふしぎ遊戯」のようなロマンス系が人気あります。

—漫画を勉強している人達は日本語も習っているのでしょうか。

日本語を習いたいという人、声優になりたい人、そしてJ-POP(日本のポップス)歌手になりたいという人もいます。アルゼンチンではJ-POPも人気ありますから。

—アルゼンチンで、この漫画カルチャーをもっと広げるには…？

イラストレーター、J-POP歌手、この世界のプロが必要ですね。J-POPファンは、L'Arc-en-CielとかGreyとか好きですよ。もしできれば、日本から漫画家やアニメのテーマソングを演奏しているバンドや歌手がアルゼンチンへ来てくれるとすごく嬉しいのですが、それは夢なのでしょうね。私もいつか日本に行って漫画やアニメを本場で見たいと思っています。

### ＝なぜ日本アニメがこれほど注目されるか？＝

アルゼンチンでアニメのビデオや映画上映をしている"Animefest"というグループの代表Beatriz Lópezさんは、このアニメブームの背景について次のように語っています。

「元々私達はアニメ好きな人間の集りでしたが、互いにビデオ等を持寄って集まるうちに人数が増え、一般にも上映するようになりました。70年代日本のTV番組が亜国に入った際、何か亜国には無いことに気付きました。欧米の1回完結型とは違い、日本のはストーリーがシリーズで続く為に1回たりとも見損うまいと日本人達はテレビに釘付けだったのです。その後少年向の「マジンガーZ」や少女向の「キャンディーキャンディー」、90年代「ドラゴンボール」が亜国でもヒットしました。アニメを公開する為に翻訳が必要になり日本語を勉強し始めましたが、亜国にはない日本の習慣等を徐々に見出し、その度『なぜだろう』と思いました。高橋留美子の「めぞん一刻」は、日常誰にでも起り得る現実的な話から成っていますが、この作品を通して、日本ではこういう事はやってはいけないetc.が分かり、益々日本文化に興味が増えました。現在、辞書を片手にアニメをスペイン語に訳していますが、日本語で表現される言葉遊びの翻訳や、ストーリーを正確に訳す為に日本史等日本の背景の知識についても相当調べなくてはならない点にはいつも苦労しています。」(Urbano NikkeiのMiyagi氏のインタビューを引用)。

(詳しく知りたい方は、<http://www.animefest.8k.com> にアクセスして下さい。)

荻村昌代 (当協会正会員&編集委員)

取材協力：Centro Nikkei Argentinoの漫画講師Andrea Jenさんと月刊誌Urbano Nikkeiのミヤギ・ダニエルさん。

メモ：このCentro Nikkeiでは常時「日本漫画・コース」が開設されている。他の日本語学校や日系団体でも漫画の講座や展示会、品評会が行われている。日本のアニメに興味を抱いているのは地元の日系人より、非日系人のargentino/aである。



## 国際数学オリンピック日本大会でアルゼンチンの学生「金」を受賞

日本で毎回開催されている「国際数学オリンピック」でアルゼンチンの学生参加者が一つの種目で金メダルを受賞し、その他4名も素晴らしい成績を収めた。8月に開催されたこの第44回大会は（財）数学オリンピック財団の主催と文部科学省の後援で行われ82カ国458人が参加した。

ブエノスアイレスのLA NACION新聞によると、中学3年生のCarlos Di Fiori君が金メダルを受賞し、その他、Yue Yang, Pablo Dal Lago, Lucas RearteとAlejandro Deymonnaz君らも素晴らしい結果を出し、南米諸国の中では団体としてトップだったと報道している。

数ヶ月前、La Pampa州の中学校がユネスコと欧州経済協力機構主催のコンクールで数学と科学の部門で好成績を残し、Guggenheim財団の奨学金プログラムでも17人のアルゼンチン学生が選ばれている。

財政的にも学級的にも教育制度の諸問題が取りざたされている現在、こうした功績を世界の舞台上に残しているアルゼンチン人学生の活躍ぶりは高く評価されるべきだが、制度全体としての見直しと解決が急務だと指摘されている。一部の州では、教員のストライキで年間授業の半分ぐらいしか行われていないという報告もあるが、現政権の公約には教育の正常化もかけられており、今年の3月からは大きなトラブルは生じていない。

いずれにしても、Carlos君が数学を得意なのは、単に数学が好きだというだけでなく小学校7年生から州内や全国レベルのコンクールに参加してきており、今まで根気よく数学教員の指導のもとシステマティックに数学を勉強してきたと、帰国後会見している。

(La Nación, 2003/8/11)

En las Olimpiadas de Matemáticas realizada en pasado agosto en Tokyo, el joven Carlos Di Fiori, estudiante de la secundaria, obtuvo una medalla de oro en la categoría individual.

A principios de año, alumnos de un colegio de La Pampa obtuvieron excelentes resultados en matemáticas y ciencias por lo que 17 estudiantes lograron la beca de la Fundación Guggenheim.

## 柔道世界選手権で亜国女子選手金メダル！

9月11日から14日の間、大阪の大阪城ホールで柔道の世界選手権が行われた。97ヶ国・地域が参加し、アルゼンチンのチームも来日したが、男子は初戦で敗退した。南米出身ではキューバやブラジルの選手が日本のメディアでも注目され、かなりの成績を残した。

しかし、女子63キロ級では、アルゼンチンのDaniela Krukowerが世界及びオリンピックチャンピオンのDriulis Gonzalez（キューバ）を決勝で見事に倒して金メダルを受賞した。

Danielaは1975年にブエノスアイレス市で生まれ、5歳から名門のリバープレート・クラブで柔道を始めた。父親の事情によって、8歳の時にイスラエルへ転居する。現地でも柔道を続けるが、イスラエルの代表チームに入るには二重国籍の問題があったため、1999年、24歳の時に単身で生まれ育ったアルゼンチンに戻る。

スペイン語を勉強し直し、市内の道場に通った。数年前、アルゼンチンを代表してサントドミンゴのパナメリカン大会に出場するが、おしくも銅メダルで終わった。

しかし、今回の優勝で来年のアテネ・オリンピックの出場権も獲得し今はアルゼンチンのヒーローである。ブエノスアイレスでは、マッサージ師として働いて生計を立てている。

+++++

## 亜代表バレーボールチームを応援！！

### VIENEN LAS PANTERAS!! MUNDIAL DE VOLEIBOL FEMENINO-JAPON2003

4年に一度国際バレーボール連盟が主催する三大公式大会「2003ワールドカップバレーボール女子大会（男子も同時開催）」にアルゼンチンの女子代表チームが来日する。約1カ月の大会で男子、女子とも12カ国が参加する。南米からは、強豪のブラジル、キューバ、ドミニカが参加する。アルゼンチンの第一回目のカードは日本であり、初日の11月1日午後6時、東京の国立代々木第一体育館で行われる。2日はアメリカ、3日はエジプトと対戦する。その後、名古屋のレイナーホールで5日に韓国と、6日にはイタリアと





なっている。15日までに富山と大阪でも他のチームと対戦することになっており、準々決勝まで11試合を予定している。この大会は、2004年アテネ・オリンピックへの出場権が与えられる最初の大会である。

監督は今年の3月に就任したAlejandro Grossiである。亜国では、この攻撃的な女性バレーボールチームをEQUIPO PANTERA（ヒョウのチーム）と名付けている。



試合日程：

<http://www.worldcup2003.jp/jp/matcheschedule.html>

亜の女子バレーサイト：

<http://www.voleyfemenino.com.ar/>

\*\*\*\*\*

## アルゼンチンおすすめ観光スポット

11～12月には、パタゴニアへ

### CALAFATE & PENINSULA DE VALDEZ

荻村 昌代（当協会会員&編集委員）

11月・12月といえば日本は寒い時季ですが、季節が逆のアルゼンチンでは、この夏の間だからこそ観光できる地域があります。南部のパタゴニアです。今回は、その中から代表的な観光スポットであるカラファテとバルデス半島をご紹介します。

(注：文中の航空便時刻等については変更することがありますので、最新情報は各人でご確認下さいませようお願い致します。)

## =パタゴニア地域について Patagonia=

南米大陸のほぼ南緯40度以南をパタゴニアとよびます。面積はチリを含め日本の約3倍。アルゼンチン側はパンパ(大草原地帯)が広がり、年間を通し強い風が吹きつけます。1520年マゼランが、大西洋と太平洋を結ぶベーリング海峡を世に伝えましたが、当時の先住民の足が大きかったことからPATA足+GON大きい=PATAGONIA大足族の地と名づけられました。近代、羊毛業などが発展する一方で、西洋から持ちこまれた病気や環境変化により先住民はほとんど姿を消

してしまいました。現在は牧畜・石油の産出・漁業が経済基盤となっていますが、観光業も盛んで大自然を求めて多くの人々が訪れています。

## =カラファテ Calafate=

カラファテはアルゼンチン湖に面した小さな村で、その名の由来は低い灌木calafateにあります。ここが、60万haに及ぶ氷の塊「氷河国立公園」Parque Nacional de Los Glaciaresへの観光の基点となっています。氷河国立公園は1981年にユネスコの世界遺産に認定されました。ここに、ペリート・モレノ氷河、ウプサラ氷河、ピエドマ氷河等があります。

南米大陸南端に近いこの地域では、夏季とはいえ気温は5～10度位。また夜の10時位にならないと外が暗くならないので、一日が長くなったように感じます。夕食時間が遅いこの国でも、日暮れ前に夕食時間になるわけです。

## \*アクセス\*

カラファテには、ブエノスアイレスからリオ・ガジェゴスへ空路で入ります(直行で約3時間)。リオ・ガジェゴスからカラファテへは、バスで約5時間。広大な草原を眺めながらの旅も楽しいものです。

・アルゼンチン航空 Aerolineas Argentinas

Tel: 0810-222-86527

ブエノス発→リオガジェゴス 2便/日

5.25発、15.55発 往復\$335～\$600 (peso)

・ラデ空軍航空 LADE Tel: 0810-810-5233

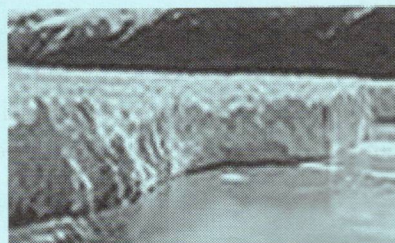
ブエノス発→リオガジェゴス

週2便(月)及び(金) 8:00発. 往復\$257

## \*見どころ\*

1) ペリート・モレノ氷河

### Glaciares de Perito Moreno



カラファテ市内から85km、車で約2時間。マガジャネス半島 Peninsula Magallanesを回り

込んだ所に見えるのがペリート・モレノ氷河です。半島の南西部にある展望台から湖を隔てて見えるその氷の塊は、幅5km、高さ60～100mにも及び、光の屈折の関係で氷河独特の青白い色をしています。この静寂の中で夏は時折、巨大



な氷河の柱がガッシャー、ゴゴンという轟音と共に湖に崩れ落ちますが、その度に自然の神秘的な力を感じずにはられません。ペリート・モレノ氷河へは、ツアーかタクシーを利用します。また、カイゼンをはめて氷河の上を歩くトレッキング・ツアーも体力のある人にはおすすめです。

## 2) ウプサラ氷河 Glaciar Upsala

ペリート・モレノ氷河から北西に約60kmにある、この地域最大の氷河です。幅5km、高さ100m、長さは約80kmにも及びます。カラファテから約50km、バンデラ港からウプサラ氷河を観光する船が出ています。

## 3) クエバ・デ・ラス・manos(手の洞窟)

### Cuevas de las Manos

州北部のペリートモレノ方面にいける方にお

すすめです。ペリートモレノから167kmのところにCañadón del Río Pinturasというところがあり、そこには約9,370~3,000年も前の人々が残したと思われる手の型が沢山見られる洞窟があります。手の他にも、この地に生息するグアナコ(ラクダの一種)や人々の生活の様子が赤、黄、黒等の色で、生き生きと残されており、考古学的にも重要なこの洞窟はユネスコの世界文化遺産にも指定されています。ペリート・モレノから日帰りのツアー(所要6時間、\$50)もあります。

### \*宿泊\*

カラファテの宿泊は30室以下のこじんまりしたホテルや、カバーニャcaba紡というバンガロータイプがほとんどですが、沢山あります。

Bahía Redonda: ツインルーム1室、一泊\$70

Vientos del Sur: ツインルーム1室、一泊\$48

## アルゼンチンの旅行会社市場調査のために来日

日本のちょうど裏側に位置するアルゼンチンに旅行するという事になると、大手の旅行会社が提供する高額なパックツアー(ブラジルやペルーとのコース兼用)で行くか格安チケットを利用して現地の安いツアーか自分でホテルや交通手段を手配していくしかない(後者を選択した場合ある程度スペイン語の能力と土地勘が要求される)。

また、ツアーだと限られた観光名所にしかいくことができず、通常はハードなスケジュールの中、高級ホテルでの宿泊、エンターテインメントは外国人向けのタンゴショー等で終わってしまうことが多い。

最近、アルゼンチン国内でも流行っているのがアドベンチャー観光(トレッキングや登山とセット)、環境保護型観光(Valdéz半島のクジラ、アザラシの観賞)、牧場等での体験ツアー(牧場での実習体験やガウチョとの乗馬、ワイナリー試飲ツアー)等であるが、今回、来日したエフエム・トラベル社(fm travel SRL)のPedro Cedrés社長と企画担当のJavier Matteoli取締役は、アルゼンチンにもっと多くの日本人観光客の誘致の可能性を探りにきた。4日間という短い滞在期間であったが、会社案内や関係資料はすべて日本語に翻訳されており、有意義なスケジュールをこなしたようである。各訪問先で得た情報やヒントを元に、帰国前日、Rubio Reyna公使の呼びかけによって日本在住のアルゼンチン関係者数人と意見交換が行われた。当協会のアルベルト松本理事も参加した。その他、大使館の金融担当官、大来財団日本評議委員会事務局の田丸厚業務部長と呼びかけ人Reyna公使らが都内の外国人プレスセンターのレストランに集り、彼たちが得た感想と日本人観光客が求めているサービスについて懇談した。

アルゼンチンには多くの自然と魅力的なスポットがあるが、30時間の渡航時間というハンディを克服するためには「感動」、「体験」、「ユニーク」という他にない付加価値を提供する必要がある。単なる旅行という側面だけではなく、オプションメニューとして誰もが参加できる文化交流的なタンゴ体験、サッカー観戦及び名門チームでのミニ留学(中高等学校年齢向け等)、ワイナリー訪問と葡萄園体験等があげられたが、今後大いに期待したい。

Para incrementar el turismo receptivo de los japoneses, los Sres. Pedro Cedrés y Javier Matteoli (foto: derecha y centro), directivos de la firma fm travel s.r.l., han visitado Tokyo para conversar con agencias de turismo japonés y latinas. Finalizado los 4 días de una intensa agenda, por iniciativa del Ministro Carlos Rubio Reyna (foto: izquierda) se compartió una reunión con algunos referentes argentinos para intercambiar impresiones y realizar algunas recomendaciones que permitan diseñar una estrategia propia y diferente para satisfacer a los turistas japoneses que viajen a la Argentina.





## ＝バルデス半島 Peninsula Valdés＝

バルデス半島はChubut州にあり首都から南へ約1400km。大西洋側に突き出た半島です。何と言ってもペンギン、オタリア、ゾウアザラシなどの野生動物が間近に見られるのが魅力！1935年政府が国際保護条約を結びこれらの動物の保護に努めており、1999年ユネスコの世界遺産にも指定されました。特に夏季はこれらの動物が見られる時期です。ベストシーズンは、鯨9～10月、ペンギン9～3月、ゾウアザラシ9月頃、オタリア2月頃。バルデス半島への日帰りツアーは、トレレウまたはプエルトマドリンから出ています。

### \* アクセス \*

ブエノスアイレスからトレレウまで空路で約2時間。

・アルゼンチン航空Aerolíneas Argentinas

!Tel: 0810-222-86527

ブエノスアイレス→トレレウ行 毎日運行

平日3便/日、土日4便/日

その他、ブエノスアイレスからプエルトマドリンPuerto Madryn行きの航空便もあります。陸路(長距離バス)は毎日運行、約26時間。

### \* 動物別見どころ \*

#### 1) ミナミゾウアザラシ

体重1tもの雄がハーレムを作ったり、子供が生まれたりする時期は9月中旬から11月ころ。プンタ・ノルテ(半島北端)からプンタ・セロ(半島東側)までは生息地が広がっています。特にプンタ・デルガーダ(半島南東)やカレタ・バルデスでは、浜辺近くまで降りて見られます。その他プエルト・ピラミデスなど。

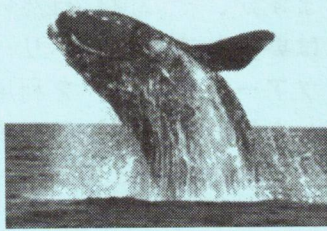
#### 2) マゼランペンギン

一番のおすすめは、半島内ではありませんがトレレウから南へ120km程にあるプンタ・トンボというペンギン保護区です。9～3月は、何万羽のペンギンの大群が見られますが、3月はブラジル沖合の方へ移動するので数は減ってしまいます。ペンギンには1mくらいまで近づけますが、あまり近寄ると怒ってしまいます。砂地に1m位の穴状の巣が沢山あります。プンタ・トンボへは所要5時間程のツアーがトレレウやプエルトマドリンから出ています。

#### 3) セミクジラ

ヌエボ湾に面するプエルト・ピラミデスから観光船が多く出ています。ピークは9月から10月。

鯨の位置を確認して出航するので、ほぼ100%巨大な鯨を見ることができま



#### 4) その他の動物

オタリアは、カレタ・バルデスやプンタ・デルガーダで見られます。シャチは、オタリアやゾウアザラシの子を襲うため時期により岸に近づきます。

### \* 他の観光スポット \*

トレレウTrelewは、1865年入植したウェールズ人(英国)によって開拓されたため、ウェールズの影響を残した建物が見られます。またトレレウ東方18kmにあるガイマンGaimanにはウェールズ移民の末えいが暮しており、数軒のティールームCasa de Teは、英国式の本格的なおいしい紅茶とお菓子が頂けます。紅茶を頂いていると、アルゼンチンではないような気がします。

### \* 宿泊 \*

星ランク別の宿泊一覧が参照できます。

<http://www.lanacion.com.ar/>

### \* 参考 \*

Chubut州政府のHPは下記。かなり詳しい地図も出ています。

<http://www.chubutur.gov.ar/>

その他パタゴニア関連のサイトは以下。

<http://www.comunicamadryn.gov.ar/infogral/index.htm>

<http://www.calafate.com/>

<http://www.losglaciares.com/>

\*\*\*\*\*

## Cien Sacos de Arroz "KOME HYAPPYO"

「米百俵」スペイン語版

山本有三の「米百俵」スペイン語版が出版された。中南米新聞社の石河照大とラファエル・ルイスの共訳である。

第1章：戯曲「米百俵」、第2章：「米百俵」と国漢学校、長岡市等、第3章：19世紀の日本とスペイン語圏諸国の概略史と交流物語。

Precio: 2,625 yenes (incluye IVA) + 290 yenes de envío.

ISBN4-902414-00-7 2,625円。税込み。送料：290円  
Pago en correo: Cuenta 00180-5-611973 郵便振替  
CHUNAMBEI SHIMBUNSHA 中南米新聞社  
Tel: 048-833-0349 Fax: 048-833-9608  
<http://www.chunambeico.jp>

Una obra conmovedora y ejemplar sobre un hecho real ocurrido en 1868 que resalta la importancia de la educación y del sacrificio en tiempos difíciles. Además de explicar la época hace una reseña histórica de aquellos tiempos en los incipientes países de América Latina.





## ヴィオレタ・シンヤさんのこと

河崎 勳

「ロンバルディー・ポプラの、まるっこい葉の重なりを手でかきわけてみると、ああ！スマレが、もう咲いていたのです」。壽岳しづさんの名訳になるアルゼンチン生まれの作家ヘンリー・ハドソンの「はるかな国 とおい昔」の一節である。ハドソンの姪と日本人の間の娘として生まれ、その「スマレ」の名をつけられたヴィオレタ・シンヤさんが、8月3日ブエノスアイレスの病院で永遠の眠りについた。92歳だった。一生を、教育とハドソンの業績保存、そして日本アルゼンチン親善に尽くした人である。



ヴィオレタの父親 榛葉賛雄（シンヤ・ヨシオ）さんは、100年前長崎を訪れたアルゼンチン海軍の練習艦サルミエント号に乗り込んでブエノスアイレスまで

行き、彼の地が気に入って永住した。日本のパスポートを持った、いわば日本人公式移住者第一号とされている。榛葉さんは、ブエノスアイレス大学に残って欲しいと言われるくらい優秀な青年だったが、結局貿易商の道を選んだ。同時に、アルゼンチンと日本両国の新聞にお互いを紹介する記事を書き続け、日本紹介の書をスペイン語で出版するジャーナリストでもあった。ブエノスアイレスの日本商業会議所を創立したのも彼であった。

榛葉さんとハドソンの姪の間に生まれたヴィオレタ・シンヤさんは、多分アルゼンチンでの、初めての日系二世であったと思われる。美しいヴィオレタは、すくすくと育ち、学業優秀で教員になった。背丈も鼻も高い全く西洋人の顔立ちで、どこから見ても日本人の面影はない。引き締まった体で、きりりとしており、日本流のあいまいな考え方も持ち合わせていなかった。父親に似て、てきぱきとした活動家だった。日本の移住者たちとのつき合いはなく、アルゼンチンの文化人のグループに属していた。流暢な英語を身につけており、ハドソンの英語の著作をスペイン語で出版し、日本とアルゼンチンの交流についてサロンで講演していた。

私は、ブエノスアイレスに着任した時、縁があってヴィオレタにスペイン語の先生になってもらった。が、この生徒は、スペイン語でそこそこ用が足せるようになると勉強を放り出して、助手を連れて南米各地のニュース取材に駆け回った。分からないことがあると博識のヴィオレタのところへ駆け込んだ。おもしろかったのは、ピアソラの件だ。アルゼンチンの音楽界で、「ピアソラこそタンゴだ、タンゴでない」とピアソラ論争が盛んだった。アルゼンチンのインテリの代表ヴィオレタは断言した。「私は嫌いよ。あんなのタンゴじゃないわ」。しかし、ピアソラ論争を日本に紹介するのはジャーナリズムの仕事だと考えた私は、ヴィオレタには黙って、ピアソラに密着してテレビ番組を作った。1969年のことである。

ある日、ブエノスアイレスの私の自宅にヴィオレタが電話してきた。「ハドソン博物館の改装落成式をするから来て頂戴よ」。パンパの中にあるハドソンの生家は、津田正夫大使の尽力で博物館になっていた。ヴィオレタが駆け回って資金を集め、改装となったその小さい博物館の1室のガラスケースの中に、「FAR AWAY AND LONG AGO」の各国語の翻訳書が並べてある。壽岳しづさんの「はるかな国 とおい昔」を見た時は感激した。

津田大使とヴィオレタは大の仲良しで、大使の帰国後もヴィオレタは何かにつけて「セニョール・ツダ、セニョール・ツダ」と懐かしがっていた。

この博物館はその後、藤本芳男大使や、壽岳和子さん、サントリー世界愛鳥基金らの尽力で、周辺の開発からパンパの野鳥たちを保護するための土地を確保することができ、ヴィオレタは大喜びであった。

1993年、念願がかなってヴィオレタは2度目の日本訪問を果たした。私たち夫婦は、日比谷公園の中のレストランに彼女を招いた。



ブエノスアイレスでヴィオレタが、いつも帝国ホテルのことを懐かしがっていたのを覚えていたからである。「うれしいわ、最初に日本に来た時ここに泊まったのよ。また来れてよかったわ」。



82歳の彼女は元気だった。浅草でヴィオレタは、アルゼンチンへの土産に浴衣地や日本風の飾り物を、次々と買い込んだ。その買いっぷりのてきぱきした決断の速さには改めて驚かされた。「これが私の最後の日本訪問になると思うけど、思い残すことはないわ。ムイ・コンテンツ」。感傷的になることもなく、あくまでもさっぱりと清々しかった。

2年前、東京から久しぶりに彼女に電話をした。「わたし、ノベタなのよ（90歳になった）」と自分で呆れていた。日本アルゼンチン協会の山下美里さんがブエノスアイレスを訪れるので、テープレコーダーを持ち込んでもらい、ヴィオレタの日本との思い出を吹き込んでもらった。「2回目の日本訪問の時、日本の伝統がなくなりつつあると感じた。特に若者がすっかり変わって」。その後もヴィオレタに追加の吹き込みを頼んでいたのだが、神様は、そんなにいつまでも悠長な時間をくれなかった。

ヴィオレタのご冥福を心からお祈りする。

(かわさき いさむ：当協会常務理事)

VIOLETA SHINYA: Hija del primer inmigrante oficialmente reconocido, Yoshio Shinya, por lo que se puede decir que es la primera nissei argentina de la historia de la inmigración japonesa. Su padre Yoshio llega a los 16 años en la Fragata Sarmiento que estaba de gira por el mundo, el 30 de septiembre de 1900. Violeta es hija del primer matrimonio de Yoshio. Toda su vida le dedicó su amor a la docencia y a ser un referente en las relaciones de amistad con el Japón. Su última visita fue en 1993. Muchos japoneses que por trabajo vivieron un tiempo en la Argentina, entre ellos el Director Ejecutivo de esta Asociación, Isamu Kawasaki, tuvieron la grata experiencia de tenerla como maestra particular de castellano.

Falleció el pasado 3 de agosto, a los 92 años, en Buenos Aires.

Nuestro eterno recuerdo y cariño. ¡Que en Paz Descanse!

写真2：90歳の時、ブエノスアイレスで。当協会会員佐藤幸正（弘前学院大学教授）撮影。

写真1：「アルゼンチン日本人移民史」第一巻前編、(社)在亜日系団体連合会、亜日本人移民史編集委員会、第5節：正式移民第一号のシンヤ・ヨシオ、25～27頁を参照ください。

この移民史は日本でも入手できます。

新垣八重子さん TEL:0466-46-0986

FAX: 0466-46-5949

文野敏博さん TEL:0466-46-7678

FAX: 0466-42-0032

価格：5,000円+送料1,000円



\*\*\*\*\*

## アルゼンチン経済をめぐる熱っぽい議論

日本アルゼンチン協会は、10月15日上智大学で、上智大学イベロアメリカ研究所との共催による講演会を開いた。講師の小林晋一郎氏（当協会理事、東京リサーチ・インターナショナル客員研究理事）は、「アルゼンチン経済危機の真相」と題して、アルゼンチンの経済危機を次のように分析した。

- アルゼンチンは、1991年に兌換法を施行して1ドル1ペソの固定相場制に移行し、インフレを克服し、世界の経済優等生になった。
- 兌換法は、通貨の増発に歯止めをかけ、政治家に、国家予算には制約があることを認識させる効果があった。
- しかし、兌換法で通貨規律は確立したものの、財政規律が確立できず、財政は悪化した。3選を狙ったメネム大統領が、各州に金をばら撒きすぎたと言われる。低い徴税能力と脱税から、歳入の伸びは歳出の伸びを大きく下回った結果、財政は赤字に転落した。
- 固定相場で国際競争力を失ったと言われたが、輸出は伸びていた。
- インフレ克服のために、固定相場は必要であったと思うが、「兌換法そのものが、剛直すぎた、もう少し幅をもって運用できるようにしておけばよかった」という批判もある。
- 1993年～1998年の経済安定の時期に、兌換法を卒業してもよかったのではないかと。
- 今のアルゼンチン経済は、2002年第1四半期を底として回復過程に入り、2003年第1四半期からプラス成長に転じ、為替相場も安定して推移している。

フロアには50人が参加し、小林講師とフロアの間で熱心な質疑応答が行われ、永井慎也新アルゼンチン大使も「アメリカ経済と1対1で勝負するのは、ゴルフで言えばハンディなしでスクラッチで戦うようなもので、無理があったのではないかと述べて論戦に参加した。

### (社)日本アルゼンチン協会 会員募集

日本とアルゼンチンに関係する情報を得る。文化交流の主役になり、イベントに参加する。

互いの理解を深め、友好関係を育てる。

正会員：年会費 10,000円 Socio pleno  
 賛助会員：年会費 5,000円 Socio colaborador  
 学生会員：年会費 3,000円 Socio estudiante  
 法人会員：年会費 一口 30,000円 Corporativo  
 Tel: 03-3501-4684 E-mail: argentina@nifty.com

支払方法：郵便振替又は銀行振込

○ 郵便振替：0120-6-581381

社団法人日本アルゼンチン協会

○ 銀行振込：東京三菱銀行 新橋支店

普通預金 0234478

社団法人日本アルゼンチン協会



## 7月から10月の間の記念日

### 1) 8月17日 「San Martín将軍が亡くなった日」

サンマルティン (ホセ・フランシスコ・デ・サンマルティン JOSE FRANCISCO DE SAN MARTIN) 将軍は、1778年2月25日、アルゼンチン東部のコリエンテス州、ジャベジューという町で生まれた。8歳から父親の転勤でスペインで教育を受けることになるが、少年時代から軍に入隊する。実戦で昇進し、1812年にブエノスアイレスに戻ったときには、中佐の階級であった。独立戦争に参加するために、一番先に編成するのが機動性の強い「騎馬隊 (Granaderos a Caballo)」であった。

スペインからの独立を果たすため、政府からの任命で最高司令官としてアルゼンチン領土をはじめ、チリとペルーをも独立に導く。様々な困難を乗り越え、最後には南米地域全体の新体制について、英雄のシモン・ボリバル将軍と1822年7月に4時間にわたる会談を行うが、これを機にサンマルティン将軍は全ての職を辞任し、ブエノスアイレスに戻り、1824年には、内線に包まれていたアルゼンチンを去る。

1829年に一度、ブエノスアイレスに戻るのだが、あまりにも自国が混乱状態にあったため、隣のウルグアイに留まり、ヨーロッパに戻ってしまうのである。1850年8月17日、72歳の年でフランスで亡くなる。

### 2) 9月11日 Dia del Maestro 教員の日

19世紀後半 (1868-74)、アルゼンチンの大統領にまでなったDomingo Faustino Sarmientoの死を偲んで記念日とされるのが9月11日である。教育者としての実績、信念、執念を讃えて「教員の日」として指定されている。同氏は1811年、San Juan州の貧しい家庭に生まれたが、4歳の時にはもうスラスラ読むことができたことと伝えられている。15歳の時に小学校を設立し、教育者として大きな功績を残す。その後、軍人として、ジャーナリストとして、そして政治家・外交官としても活躍するが、当時のRosas政権の中では敵視されチリで亡命生活を長年おくることになる。その最中、アメリカとヨーロッパに渡るが、これらの国々で得た知識や体験は後から政治家として活用する。州知事になったときには初等教育の義務教育制度を制定し、大統領として就任したときにはその制度を全国レベルに広げ、教員用の専門図書館、サンファン大学、海軍及び陸軍士官学校等を設立した。第一回目の国勢調査も実施し、国策として海外からの移民を促進した (インフラ整備や科学の発展のために海外の専門職員も多く契約した)。

作家として、Facundo, Recuerdos de Provincia, Viaje, Educación Popular, Civilización y Barbarie等があるが、中には当時としてはかなり過激な内容であったため政権との対立や大きな議論を起こす。

<http://www.me.gov.ar/efeme/sarmiento/biografia.html>

<http://www.clarin.com.ar/diario/especiales/sarmiento/>

一口メモ：会報第40号 (03年4月) に、松下マルタ先生の著書「Sarmiento y Fukuzawa: Dos forjadores de la modernidad」, Universidad Nacional de Matanza, 2002 (非売品、西語) を紹

介したが、この作品は福沢諭吉とサルミエントを比較しながら時代背景を踏まえて共通した近代化の考えを方を紹介している。

### 3) 10月12日 新大陸発見の日

1492年10月12日、スペイン王国の支援のもと、アジア (ジパング) との接触を求めて中米カリブ海にコロンブスが到着した日である。同氏は亡くなるまで新大陸を発見したということ把握していなかったようだが、この発見によってヨーロッパとアメリカとの新たな歴史がはじまり、互いの交流と対立は今の中南米諸国に大きく影響している。発見から200年のうちに中南米に存在していたマヤ文明やインカ帝国は完全に消滅したが、その他の先住民部族も様々な紛争に巻き込まれほとんど壊滅状態になった。その間、スペインやポルトガルの征服者と先住民の混血化もすすみ、スペイン人2世や3世が19世紀に入って独立運動を起こすのである。

コロンブスもアジアを発見し、そこで得た富によってスペインの中枢での活動を望んでいたが、第一回目の功績を除き、他3回に渡って中米カリブ地域を訪れているが、あまり大きな成果を得ることができず、貧困の中、世を去る。

その他、9月21日は「Dia del Estudiante学生の日」であり、10月19日は「Dia de la madre母の日」である。

\*\*\*\*\*

### イベント案内

1) 11月22日 (土) 午後2時

Ginastera没後20年記念

「瀬田敦子ピアノリサイタル」

カザルスホール 全席自由

入場料：1,000円以上 (チャリティ目的)

日本大学カザルスホール事務局

室：03-3294-1229

<http://www.page.sannet.ne.jp/atsuko1/>

<http://www.ciweb.com.ar/Ginastera/index.htm>

2) 11月17日 (月) 18時30分～20時30分

♪ レクチャー・コンサート ♪

アルゼンチンを代表するリュート奏者

Eduardo EGUEZ エドゥアルド・エグエス

リュートの世界へようこそ

ーバロック音楽と楽器をめぐってー

入場無料、予約不要、

日本語通訳付

場所：立教大学構内 第一食堂

豊島区西池袋3-34-1

主催：立教大学ラテンアメリ

カ研究所

Tel: 03-3985-2578



(その他16頁を参照)



## 目次 - INDICE

駐アルゼンチン大使に永井氏.....	1
Juanjo Dominguez公演&大使館パーティー.....	1
アルゼンチンの蜂蜜.....	2
アルゼンチンの高級ワイン-日本に上陸.....	2
オーガニック専門家再来日.....	3
最新アルゼンチン情勢-政治・経済.....	4・5
アルゼンチン関係の記事/原稿.....	6
ARGENTINISMOSのコーナー.....	6
アルゼンチンの「移民の日」.....	7
第44回海外日系人大会.....	7
アルゼンチンで日本の漫画・アニメがブーム.....	8
国際数学オリンピックで亜の学生「金」を受賞..9	
柔道世界選手権で亜国女子選手金メダル.....	9
亜代表バレーボールチームが来日する.....	9
アルゼンチンおすすめ観光スポット	
「11月～12月は、パタゴニアへ」.....	10・11・12
亜の旅行会社市場調査のために来日.....	11
「米百俵」西語版出版案内.....	12
ヴィオレタ・シンヤさんのこと.....	13
亜経済をめぐる熱っぽい議論.....	14
7月から10月の記念日.....	15
イベント案内&お知らせ.....	15・16

\*\*\*\*\*

この会報の作成に当たり多くの方々に協力して頂きました。心から感謝致します。より充実した内容にしていきたいと思っておりますので、今後ともどうかよろしくお願い致します。

編集長 J. アルベルト 松本

編集委員：河崎勲常務理事、塩見憲一 理事、イレーネ賀集 理事、山下美里 秘書、萩村昌代 委員。

HOME PAGE開設：コンテンツ作成を進めており、11月末から12月中旬にはオープンできると思っておりますので、どうかもう少しお待ちいただければ幸いです。ご了承ください。

### 中川美亜のアルゼンチンタンゴ弾き語り アルゼンチンタンゴ・バー ダリ

\*\*\*\*\*

東京都新宿区荒木町3-5-2 駒ビル1F  
Tel: 03-3357-6635 (四谷三丁目駅徒歩5分)

営業時間:18:00～24:00 (土日祝休)

セット料金4,000円

(チャージ・2ドリンク・おつまみ付)

中川美亜 (V&P) 西澤守 (V&G)

<http://www.mia-n.nu/>

♪ピアノ伴奏でお客さんも歌えます♪



(広告)

## お知らせ

■ GOTAN PROJECT in Roppongi Hills  
タンゴをベースにDJ、バンド、ディーバがパフォーマンス  
11月15日(土) 16日(日)  
OPEN/DJ 17:00～17:40 DJ松浦 17:40～18:50  
GOTAN PROJECT 18:30～20:00  
六本木ヒルズアリーナ  
前売 3,000円 当日3,500円  
チケットぴあ0570-02-9999にて発売  
六本木ヒルズアリーナ運営室 03-6406-6611

■ レオポルド・フェデリコ楽団  
バンドネオンの巨匠レオポルド・フェデリコの日本最後のコンサート  
共演：京谷弘司、小松亮太 マリア&カルロス・リバローラ カルロス・ガリ  
12月7日(日) 16:00 大宮ソニックシティー  
12月17日(水) 18:30 グリーンホール相模大野  
12月20日(土) 15:00 神奈川県民ホール  
12月21日(日) 15:00 新宿文化センター  
12月23日(祝) 15:00 18:30  
東京国際フォーラムホールC  
S席 7,500円 A席 6,500円 B席 5,500円  
チケット斡旋販売のお知らせ  
12月21日(日) 15:00～  
新宿文化センター (11列目中央)  
12月23日(祝) 18:30～  
東京国際フォーラムホールC (12,13列目中央)  
この2公演に限り S席7,500円のところ6,500円(1,000円引き)で

ご希望の方は協会事務局までFAXまたはE-mail  
または郵送でお申し込みください。  
(枚数に限りがありますのでお早めに)



■ サッカーTOYOTA CUP  
アルゼンチンBoca Juniors VS イタリアAC Milan  
12月14日(日)  
横浜国際総合競技場  
詳細未定  
[http://www.toyotacup.com/html/news/news\\_e\\_f.html](http://www.toyotacup.com/html/news/news_e_f.html)

■ 小松真知子とタンゴクリスタルクリスマスディナーショー  
歌 柚木秀子 ダンス ルナ・デ・タンゴ  
12月22日(月)18:00～19:30 (ディナー)  
東京會館ロイヤルルーム 12F  
クリスタルオフィス TEL: 090-3426-5921